**研究成果展開事業**

**研究成果最適展開支援プログラム**

**A-STEP**

**2025年度**

# 産学共同ステージⅠ（育成フェーズ）課題提案書

|  |
| --- |
| 【提案書記入にあたっての注意事項】* 本文のフォントサイズは【10ポイント以上】を厳守してください。
* 句読点は、「、」「。」で統一してください。
* 提案書中の例示・注釈文（ピンク文字）の指示に従ってください。応募時には例示・注釈文は削除してください。
* 本注意事項は提出時に削除してください。
* 課題提案書の基本情報、「1 課題概要（公開用）」～「9 研究開発の体制」及び「14 倫理面への配慮」～「15 利益相反マネジメントにかかる申告書」は必須事項となりますので必ず記載してください。また、必須ではない項目において記載内容がない場合でも当該項目を削除しないでください。
* PDF変換後のファイルサイズがなるべく10MB以内になるように作成してください。
* 締切後の書類の修正は、一切認めません。

上記の注意事項が守れていない提案は、原則として応募書類の不受理、ないし、不採択とします。※　和文（全角文字）においては、等幅フォントを利用してください。（プロポーショナルフォントの使用は控えてください。） |

## 基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発課題名（英語表記） |  |
| A-STEP分野 | ●●分野※公募要領「5.1　対象分野について」を参照の上、必ず1つ選択してください。 |
| 研究開発期間 | 2025年10月1日～●●●●年●月●日（●年●ヶ月）※西暦で記載してください。※最長、2028年3月までの2年6ヶ月以内（3年次の年度末まで実施可能） |
| 研究開発費 | 総額：●●千円（直接経費：●●千円、間接経費：●●千円） |
| 研究責任者氏名（注1） | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属機関名 |  |
| 部署名 |  |
| 役職名 |  |
| 主たる研究分担者氏名（注2） | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属機関名 |  |
| 部署名 |  |
| 役職名 |  |
| 【任意】支援人材氏名（注3） | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属機関名 |  |
| 部署名 |  |
| 役職名 |  |

（注1）大学等が複数参画することは可能ですが、課題提案者となるのは代表機関1機関です。

（注2）主たる研究分担者とは、研究責任者の所属機関以外に参画する研究開発機関における研究開発の責任者です。複数の研究開発機関が参画する場合は表を追加してください。

（注3）本提案に支援人材が参画する場合は、表に記入してください。支援人材とは、研究責任者の所属機関において継続的に技術移転を支援する役割を担う人材のことです。例えばコーディネータ、リサーチ・アドミニストレーター等が該当します。複数名の場合は、代表者を記入してください。

* 応募に当たっては、参画するすべての研究開発機関で本提案に関する事前の了解が得られていることが必要です。了解が得られていない場合、採択が取り消されることがあります。
* 応募時に企業等は研究開発チームに参画することは出来ません。詳しくは「3.2.3 研究開発体制、研究開発機関の要件」をご確認ください。

## 1　課題概要（公開用）

※　課題提案の内容全体が分かるように、300字以内で記述してください。

※　本項目は図、表の使用は不可です。

※　課題提案が採択された場合、原則としてJSTプロジェクトデータベースにおいて公開されますのでご留意ください。
<https://projectdb.jst.go.jp/>

※　本項目の内容をe-Radの「研究概要」欄にそのまま転記してください。

## 2　背景・目的

※　本提案の背景および本提案の目的を記述してください。

※　本項目は1000文字以内で記述してください。

※　本項目の内容をe-Radの「研究目的」欄にそのまま転記してください。

## 3　イノベーションインパクト

※　本項目は、２ページ以内で作成ください。

※　本項目は、選考の観点「イノベーションインパクト」に主に対応しています。以下の(1)~(3)に記載してください。

※　本項目では、必要に応じて図表･写真等を使用して簡潔に記載してください。

**（1）研究成果の社会実装のアイデア**

※　「2　背景・目的」に示された社会課題解決等に向けた、研究成果の社会実装のアイデア・方向性を具体的に記載してください。

※　研究成果の社会実装による最終的な想定目標を記載してください。

**（2）学術的、経済的波及効果**

※　技術シーズや、研究成果の社会実装によりもたらされる学術的波及効果について、関連研究分野の進展に対する貢献、新しい学問分野の開拓等の視点から記載してください。

※　研究成果の社会実装によりもたらされる国内外の経済的・社会的影響やSDGs、カーボンニュートラル等の国際的な目標達成への貢献等について記載してください。

**（3）提案におけるデジタル田園都市国家構想への貢献のポイント（該当者のみ）**

※　本提案のどのような点がデジタル田園都市国家構想に寄与するのか具体的に記載ください。

## 4　技術シーズ

※　本項目は、3ページ以内で作成ください。

※　本項目は、選考の観点「技術シーズの新規性・優位性」に主に対応しています。以下の(1)~(3)に記載してください。

※　本項目では、必要に応じて図表･写真等を使用して分かりやすく簡潔に記載してください。

**（1）技術シーズの内容・特徴**

※　本提案の技術シーズとなる知的財産権や、関連論文等に関して、内容、特徴を記載してください。

※　3. （1）で記載した社会実装のアイデアの実現に向けて、本技術シーズがどのように寄与するかも具体的に説明してください。

**（2）これまでに得られている研究開発成果**

※　（1）で記載した技術シーズに関して、これまでに得られている研究開発成果では、どのような条件でどのような結果を得ているのか等、図・表等の実験データとともに定量的･具体的に記載してください。

**（3）競合技術**

※　技術シーズが関係する分野の研究開発動向について記載するとともに、従来技術、競合技術との比較を行なってください。

## 5　研究開発の目標

※　本項目は、3ページ以内で作成ください。

※　本項目は選考の観点「研究開発の目標」に主に対応しています。以下の(1)~(3)に記載してください。

※　本項目では、必要に応じて図表･写真等を使用して分かりやすく簡潔に記載してください。

**（1）課題終了時の到達点**

※　研究開発の到達点として、ステージⅠの終了時における研究開発成果の内容を具体的（性能、機能、精度等など定量的な数値も含め）に記載してください。

**（2）目標と実施構想**

※　「（1）課題終了時の到達点」を達成するために必要な技術的目標を具体的に定めてください。

※　目標の数値などが合理的であることを示す根拠（何故その目標を選択したか、目標値の妥当性、等）も記載してください。

※　目標を達成する上で障害となる問題点を抽出してください。

※　問題点に対する解決策を記載してください。この解決策によって目標が達成されることがわかるよう、現状と目標を対比しながら明確に記載してください。また、可能な限り、解決策となりうる根拠（予備実験結果・データ等）を簡潔に示してください。

※　目標数に応じて番号を増やしてください。

①目標1：●●●●●

　内容：●●●●●…

　目標の根拠：●●●●●…

　問題点：●●●●●…

　解決策：●●●●●…

②目標2：●●●●●

　内容：●●●●●…

　目標の根拠：●●●●●…

　問題点：●●●●●…

　解決策：●●●●●…

**（3）課題終了後に想定する実施項目**

※　ステージⅠが終了した後、必要と思われる実施項目について、その目標・内容・実施時期（見込み）を簡潔に記載してください。

※　支援期間中に産学共同研究を開始することが可能な提案については、課題終了時における共同研究の構想について記載してください。

※　実施項目数に応じて番号を増やしてください。

①実施項目：

目標とその内容：●●●●●…

実施時期（見込み）：20xx年頃

②実施項目：

目標とその内容：●●●●●…

実施時期（見込み）：20xx年頃

## 6　研究開発の計画

※　本項目は、3ページ以内で作成ください。

※　本項目は、選考の観点「研究開発の計画」に主に対応しています。以下の(1)~(3)に記載してください。

※　本項目では、必要に応じて図表･写真等を使用して簡潔に記載してください。

**（1）研究開発計画の項目、実施内容**

※　研究開発項目名を簡潔に記載してください。また、「５　研究課題の目標」の「（2）目標と実装構想」に記載した項目とも対応させて記載してください。

※　各研究開発項目の担当機関、達成目標、実施内容は具体的に記載してください。達成目標は可能な限り定量的な内容（数値目標を含む）としてください。

※　各研究開発項目が対応する目標にどのように資するのかも含めて、実施内容を具体的に記載してください。

※　項目数に応じて番号を増やしてください。

①研究開発項目名（20xx～20yy年度）（５．（2）●に対応）

　担当機関：○○大学

　達成目標：●●●●…

　実施内容：●●●●…

②研究開発項目名（20xx～20zz年度）（５．（2）▲に対応）

　担当機関：○○大学、△△研究所

　達成目標：●●●●…

　実施内容：●●●●…

**（2）産学共同研究の体制構築に向けた活動方針**

※　想定する産業界・企業との共同研究体制を構築するための、訪問企業候補や本提案シーズの知財化スケジュールなどを記載してください。

**（3）研究サポート体制**

※　研究責任者の所属機関またはTLO等における、産学共同研究の体制構築に向けたサポート体制について記載してください。

## 7　研究開発実施予定

**（1）研究開発実施予定表**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 研究開発項目6(1) | 対応する目標5(2) | 実施内容※6(1)に記載の実施内容を簡潔に | 担当機関 | 年度 |
| 2025 | 2026 | 2027 |
| 1 |  |  | ○○○○○○○○○○○○○○ | A大学 |  | CP1 |  |  |  |
| 2 |  |  | ○○○○○○○○○○○○○○ | A大学 |  |  |  | CP4CP2 |  |
| 3 |  |  | ○○○○○○○○○○○○○○ | A大学B大学 |  |  |  | CP3 |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5 | … | … | … | … |  |  |  |  |  |

※　チェックポイント（CP）とは「これが達成できないと次へ進めない」、「次へ進むべきではない」ポイントとしてご理解ください。

※　目標は「５ 研究開発の目標（2）」と、研究開発項目は「６ 研究開発の計画（1）」に記載した項目と対応させて記載してください。

※　時系列順にCP1、CP2、・・・としてください。

※　1つの｢研究開発項目｣につき1箇所以上は設定してください。

※　研究開発項目、研究開発期間に応じてセルを追加または削除してください。

**（2）チェックポイントの内容**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| CP | 項目 | 達成時期 | 確認内容 |
| CP1 | （例）○○システムの正当性確認 | 20xx年x月 | （例）○○の条件で動作させたときの正当率が\*\*％以上であることを●●計測により確認する。 |
| CP2 |  |  |  |
|  |  |  |  |

※　チェックポイントの確認内容は可能な限り定量的な内容（数値目標を含む）としてください。

※　（1）研究開発実施予定表のCP1、CP2、・・・と対応させて記載してください。

## 8　研究開発費執行計画

**（1）委託研究開発費（JST支出分）の合計（単位：千円）**

※　直接経費、間接経費の合計を研究開発機関毎に記載してください。合計が初年度は7,500千円以内、2年度、3年度は各々15,000千円以内となるようにしてください。

※　金額は千円単位で記載してください。間接経費等で千円未満の金額が発生する場合は切り捨ててください。

※　研究開発実施期間が2年度の場合は不要なセルを削除してください。

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　年度機関 | 2025 | 2026 | 2027 | 合計 |
| ●●大学 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ・・・ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |

**（2）各機関の委託研究開発費執行計画**

※　研究開発機関が複数ある場合、機関毎に表及び主な用途を追加してください。

※　研究開発実施期間に応じてセルを削除してください。

※　費目及び年度毎に金額を記載してください。金額は千円単位とし、千円未満の金額は切り捨ててください。

※　物品費で設備備品の調達を予定している場合は主な用途欄に記載してください。設備備品は取得価格が50万円以上かつ耐用年数が1年以上の物品を指します。

※　「その他」は、主に外注費、研究成果発表費用、機器リース費用等が含まれます。

※　間接経費率（直接経費に対する間接経費の割合（％））は原則30％とし（大学等の規則で規定されている場合を除く）、整数で記載してください。また、間接経費率は各年度一律で途中変更は出来ません。

※　応募に際して、間接経費率を30%未満とする場合には、必ず所属機関の事務部門に問題のないことを確認してください。

※　主たる研究分担者の人件費は委託研究開発費からの支出はできません。支出可能な人件費の詳細は公募要領のQ&A【共通事項】のQ12をご覧ください。

＜●●大学＞

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度費目 | 2025 | 2026 | 2027 | 合計 |
| Ⅰ物品費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅲ人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳその他 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 直接経費(Ⅰ～Ⅳ)小計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 間接経費（間接経費率●●％） | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 直接経費・間接経費の合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |

<主な用途>（記載例）

物品費　：○○計測装置（○○○○千円、20xx年度）、△△機器（○○○○千円、20yy年度）、□□装置試作（○○○○千円、20zz年度）

人件費　：ポスドク研究員○名（○○○○千円、20xx年度）
ポスドク研究員○名（○○○○千円、20yy年度）

その他　：●●測定 外注（○○○○千円、20zz年度）

## 9　研究開発の体制

**参加者リスト**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 担当(注1) | 氏名 | 所属機関部署・役職 | 現在の専門／役割分担 | 研究経費（千円）（注2） | エフォート（％）（注3） |
| 研究責任者 | ▲▲ ▲▲（19xx・男）※研究責任者のみ生年（西暦） | ▲▲大学▲▲学部教授 |  | xx,xxx | xx% |
| 課題全体の統括研究開発項目◎における～の主担当として～を行う |
| 主たる研究分担者 | ■■ ■■ | ■■大学■■学部准教授 |  | y,yyy | yy% |
| ■■大学における責任者研究開発項目◎における～の主担当として～を行う |
| 参加者 | △△ △△ | ▲▲大学▲▲学部研究員 |  | － | zz% |
| 研究開発項目◎における～の主担当として～を行う |
| 参加者 | □□ □□ | ■■大学■■学部リサーチ・アシスタント |  | － | nn% |
| 研究開発項目◎における～の副担当として～を行う |
| 計　●●名 | 研究経費合計 | ●● |  |

（注1）研究責任者、主たる研究分担者、参加者の順に記載してください。参加者とは、研究責任者、主たる研究分担者以外の方になります。参加者がまだ決まっていない場合は氏名欄を「研究員」、「ポスドク」、「大学院生」等とし、役割分担を記載してください。

（注2）研究責任者、主たる研究分担者については、その所属機関に対してJSTが支出する委託研究開発費の総額を記入してください。

（注3）エフォートは、研究者の全仕事時間を100%として、当該研究開発の実施に必要とする時間の配分割合をパーセントで記載してください。研究者の全仕事時間とは、研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動中や管理業務等を含めた実質的な全仕事時間を指します。

## 10　研究費の応募・受入等の状況・エフォート

研究責任者及び主たる研究分担者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む）（注）について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入してください。募集要項「7.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。また、「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究やマネジメント活動の時間のみならず、営利事業や非営利事業に関する活動・教育・医療活動等を含む)を100％とした場合、そのうち当該業務の実施に予定している時間の配分率（％）をご記載ください。

（注）応募に当たっては、「統合イノベーション戦略2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、令和3年度公募より、「他制度での助成等の有無」（事業によっては「研究費の応募・受入等の状況」）の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

※　研究責任者及び主たる研究分担者毎に以下の表を作成してください。

※　2025年度の研究費については該当者本人が受給する金額を記載してください。

※　JSTの資金配分を受ける機関それぞれの代表者は、「14　利益相反マネジメントにかかる申告書」での申告対象となります。

※　研究費に関する情報のうち秘密保持契約等が交わされている共同研究等に関する情報については、個別の事情に配慮して以下の通り扱います。

* + 応募された研究課題が研究費の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題の遂行に係るエフォートを適切に確保できるかどうかを確認するために必要な情報のみ（原則として共同研究等の相手機関名と受入れ研究費金額及びエフォートに係る情報のみ）の提出を求めます。
	+ ただし、既に締結済の秘密保持契約等の内容に基づき提出が困難な場合など、やむを得ない事情により提出が難しい場合は、相手機関名と受入れ研究費金額は記入せずに提出いただくことが可能です。なお、その場合においても、必要に応じて所属機関に照会を行うことがあります。
	+ 所属機関に加えて、配分機関や関係府省間で情報が共有される場合もありますが、その際も守秘義務を負っている者のみで共有が行われます。

研究責任者氏名：○○　○○

所属機関名：○○　○○

（１a）研究責任者が現在応募中の研究費（直接経費）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 通し番号 | 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 申請に係る所属・役職 | 2025年度の経費(期間全体の総額)【直接経費を記入】 | 応募・実施状況（応募中の場合はその結果判明予定時期を記載） | エフォート(％) |
| 1 | 【本事業】A-STEP ステージⅠ（2025～20xx年度） | 研究開発課題名（提案者名） | 代表 |  |  | 応募中（9月判明） | XX |
| 2 | JSPS科学研究費補助金基盤研究(A)（2025.X～2028.3） | ××による◇◇の研究(○○○○) | 代表 | ○○大学 大学院○○研究科 教授 | X千円（総額 XX千円） | 応募中（10月判明） | 5 |
| 3 |  |  |  |  |  |  |  |

●現在応募中の研究課題と、本事業で提案する研究開発課題との関連性及び相違点

　応募中の全課題と本提案との関連性・相違点について、上記表中の通し番号を引用しながら説明してください。本事業以外への応募がない場合には記入不要です。

（２a）研究責任者が現在受給中（採択され、受け入れ予定の状態のものを含む）の研究費（直接経費）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 通し番号 | 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 申請に係る所属・役職 | 2025年度の経費(期間全体の総額)【直接経費を記入】 | エフォート(％) |
| 1 | JSPS科学研究費補助金基盤研究(S)（2022.4～2026.3） | ××による◇◇の研究(○○○○) | 代表 | ○○大学 大学院○○研究科 教授 | X千円（総額 XX千円） | 10 |

●現在受給中の研究課題と、本事業で提案する研究開発課題との関連性及び相違点

　受給中の全課題と本提案との関連性・相違点について、上記表中の通し番号を引用しながら説明してください。

（３a）研究責任者のその他の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機関 | 役職 | 活動内容 | エフォート(％) |
| △△株式会社 | 顧問 | 研究開発の指導 | 2 |
|  |  |  |  |

主たる研究分担者氏名：○○　○○

所属機関名：○○　○○

（１b）主たる研究分担者が現在応募中の研究費（直接経費）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 通し番号 | 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 申請に係る所属・役職 | 2025年度の経費(期間全体の総額)【直接経費を記入】 | 応募・実施状況（応募中の場合はその結果判明予定時期を記載） | エフォート(％) |
| 1 | 【本事業】A-STEP ステージⅠ（2025～20xx年度） | 研究開発課題名（提案者名） | 分担 |  |  | 応募中（9月判明） | XX |
| 2 | JSPS科学研究費補助金基盤研究(A)（2025.X～2029.3） | ××による◇◇の研究(○○○○) | 代表 | ○○大学 大学院○○研究科 教授 | X千円（総額 XX千円） | 応募中（10月判明） | 5 |
| 3 |  |  |  |  |  |  |  |

●現在応募中の研究課題と、本事業で提案する研究開発課題との関連性及び相違点

　応募中の全課題と本提案との関連性・相違点について、上記表中の通し番号を引用しながら説明してください。本事業以外への応募がない場合には記入不要です。

（２b）主たる研究分担者が現在受給中（採択され、受け入れ予定の状態のものを含む）の研究費（直接経費）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 通し番号 | 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 申請に係る所属・役職 | 2025年度の経費(期間全体の総額)【直接経費を記入】 | エフォート(％) |
| 1 | JSPS科学研究費補助金基盤研究(S)（2022.4～2026.3） | ××による◇◇の研究(○○○○) | 代表 | ○○大学 大学院○○研究科 教授 | X千円（総額 XX千円） | 10 |

●現在受給中の研究課題と、本事業で提案する研究開発課題との関連性及び相違点

　受給中の全課題と本提案との関連性・相違点について、上記表中の通し番号を引用しながら説明してください

（３b）主たる研究分担者のその他の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機関 | 役職 | 活動内容 | エフォート(％) |
| △△株式会社 | 顧問 | 研究開発の指導 | 2 |
|  |  |  |  |

## 11　関連文献等リスト

**（1）技術シーズの詳細が分かる資料リスト**

※　本リストのうち主な3点以内（特許を除く）を応募時に添付資料としてアップロードしてください。

※　特許の場合は特許番号（または公開番号、出願番号）・発明者・発明の名称・特許権者（または出願人）を記載してください。

※　論文の場合は著者、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年を記載してください。

**（A）特許：**

記載例：

①特許第1234567号、発明者氏名、「○○○の製造方法」、特許権者：○○大学

**（B）論文：**

記載例：

①著者氏名、”発表論文名”、掲載誌、 Vol.123・p.123-129 (2020)

**（2）競合技術との比較説明に引用した、競合技術の特許・論文リスト**

※　本リストの文献は添付不要です。

※　特許の場合は特許番号（または公開番号、出願番号）・発明者・発明の名称・特許権者（または出願人）を記載してください。

※　論文の場合は著者、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年を記載してください。

**（3）技術シーズに関連する競争的研究費等の実績**

※　技術シーズに関連する競争的研究費等の実績がある場合は、技術シーズの起点となった支援及びその他本提案に関連の高い代表的支援を最大３点まで記載してください。また、その事後評価結果がウェブサイト等に掲載されている場合はそのURLを記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 制度名 | 事業名 | 実施期間（年度・西暦） | 課題名（実施者名）（代表、分担の別） | 本提案シーズとの関連性 | 事後評価結果 |
| JST事業 | 記載例：戦略的創造研究推進事業 | 記載例：さきがけ | 19ww～20zz | ○○○（△△　△△）（代表/分担） |  | https://www.... |
| ○○○○ | ○○○ | 19ww～20zz | ○○○（△△　△△）（代表/分担） |  | https://www.... |
| その他 | 記載例：科研費 | 記載例：基盤B |  | ○○○（△△　△△）（代表/分担） |  |  |

## 12　専門用語等の説明

※　本課題提案書で使用している業界用語、専門用語及び略号等の特殊用語のうち、研究を総合的に理解する上で必要と思われるものについて、わかりやすく、簡単に説明してください。

※　特にない場合は空欄でかまいません。

|  |  |
| --- | --- |
| 用語 | 説　明 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

## 13　総合知の活用（該当する場合のみ）

※　総合知を活用する提案である場合は、以下の（1）～（4）の項目に記載してください。

※　応募に際して、e-Radの個別項目タブ内の「総合知を活用する提案」にチェックをしてください。

※　実現を目指す技術や製品等がELSI（倫理的・法規制的・社会的課題）等への対応が必要な場合は、同様に総合知の観点からの対応計画を記載してください。

※　総合知の考え方については、内閣府総合知ポータルサイト（<https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/index.html>）をご参照ください。

**（1）本提案で総合知の活用が必要である背景、理由**

**（2）本研究開発で実施する総合知を活用した研究開発項目**

**（3）本研究開発の総合知活用に向けた研究開発体制**

**（4）総合知の活用により期待される効果**

## 14　倫理面への配慮

|  |  |
| --- | --- |
| 倫理面への配慮が必要な研究 | □　該当する　・　□　該当しない |
| ※　個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査(個人履歴・映像を含む)、提供を受けた試料の使用、人の活動を制御したうえでのデータ採取、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組み換え実験、動物実験等に該当する研究を計画している場合、法令・指針等に基づく適切な措置が講じられているか、倫理面・安全面において問題はないか等について判断するためのものです。以下の事項について１ページで記入してください。(1)　提案する課題の内容が、上記の研究に該当するとの疑義を受ける恐れがある場合、又これらに関連する研究が計画されている場合は、各指針等との関係、倫理面・安全の確保面において講じるべき措置と対応状況、特に問題がないと判断した場合には、その理由等について具体的に記入してください。(2)　動物その他を用いる計画がされている場合は、各指針等に基づく国の確認等の適合状況、動物等を科学上の利用に供する場合の配慮状況、特に問題がないと判断した場合には、その理由等について具体的に記入してください。 |

## 15　利益相反マネジメントにかかる申告書

※　公募要領の「5.5　利益相反マネジメントの実施」に基づき、申告していただくものです。記載にあたっては必ず該当箇所を参照してください。

※　本項目の「研究開発担当者」とは、研究責任者と主たる研究分担者を指します。

※　公募期間中に、選考に関わる者の所属及び氏名を、A-STEP 公募のウェブサイト上に公開します。公正な評価が保証されないと課題提案者が判断する選考に関わる者がいる場合は、下記にその該当者の所属、氏名と理由を記載することができます。もし、選考に関わる者について懸念点等ある場合は、A-STEP募集担当窓口にお問い合わせください。
A-STEP 募集担当窓口：a-step[at]jst.go.jp (E-mail)

↓　すべての項目に関して該当しない場合はこちらを選択してください。↓

□　以下のすべての項目に関して、該当なし。

（1）研究開発担当者と選考期間中に選考に関わる者

（2）研究開発担当者と本課題提案の参画機関との関係について

（2-1）研究開発担当者等の研究開発成果を基に設立された機関

（2-2）研究開発担当者等が役員をしている機関

（2-3）研究開発担当者が株式を保有している機関

（2-4）研究開発担当者が実施料収入を得ている機関

（3）JSTが出資する機関の参画

（4）提案する技術シーズの権利をJSTが保有し、JSTからライセンスしている機関の参画

上記いずれかに該当する場合は以下に内容を記載してください

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 該当者氏名 | 該当機関名 | 該当する上記番号 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |

「該当する上記番号」が（1）の場合、以下にその理由を記載してください

|  |  |
| --- | --- |
| No. | 理由 |
| 1 |  |
| 2 |  |